

## 基幹公共交通の機能強化について

### 【平成25年度調査】

○基幹公共交通軸の機能強化方針や、ターミナル・乗換拠点のあり方の検討を行うために、6方面の交通軸ごとに現況把握と課題の整理を行った。

基幹軸	課題
①植木方面	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の狭隘区間による速度低下</li> <li>バス停停車による後続車両の混雑</li> <li>交差点の渋滞による速度低下</li> <li>バス路線の合流による台数の増加</li> </ul>
②合志方面	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停停車による後続車両の混雑</li> <li>交差点の渋滞、交通混雑による速度低下</li> <li>バス路線の合流による台数の増加</li> </ul>
③楠方面	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量が多い片道1車線区間の交通混雑</li> <li>バス停停車による後続車両の混雑</li> <li>交差点の渋滞による速度低下</li> <li>バス路線の合流による台数の増加</li> </ul>
④長嶺方面	<ul style="list-style-type: none"> <li>広範囲の交通混雑</li> <li>バス停停車による後続車両の混雑</li> <li>交差点の渋滞による速度低下</li> <li>バス路線系統が複雑</li> </ul>
⑤健軍方面	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停停車による後続車両の混雑</li> <li>交差点の渋滞による速度低下</li> <li>バス路線の合流による台数の増加</li> <li>市電の輸送力不足</li> </ul>
⑥富合方面	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量が多い片道1車線区間の交通混雑</li> <li>バス停停車による後続車両の混雑</li> <li>交差点の渋滞による速度低下</li> </ul>

○これらの課題整理を踏まえて、乗換拠点候補地を抽出。

[乗換拠点候補地の抽出の考え方]

#### ①鉄道駅との結節点

- 鉄道駅とバス停が近接する地点、または、駅からバス路線が分岐する地点を抽出。

#### ②幹線バスとその他のバスを乗り換える拠点

- 快速バスの運行を想定したルートで、その起点や通常のバスが合流する地点を抽出。

#### ③市街地内の路線バス結節点

- 複数の基幹公共交通軸の合流点を抽出。

乗換拠点候補地22箇所を抽出

### 【平成26年度調査】

○平成25年度の結果を基に、パーソントリップ調査結果により新たに得られたデータや、都市マスタープランの「多核連携都市づくりに向けた基本方針」を踏まえて、乗換拠点候補地の役割について以下のとおり分類し、候補地の検討・精査を行うとともに、課題の抽出を行った。

分類	抽出基準
①基幹公共交通軸上におけるゾーンバスシステム乗換拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地からの距離概ね5~6km以遠</li> <li>路線バスの運行本数が大きく変化するバス停断面</li> <li>利用者数が大きく変化するバス停断面</li> <li>幹線軸上の人口規模</li> <li>中心部への乗車人数の割合</li> <li>周辺地域との交通流動 など</li> </ul>
②鉄道駅乗換拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅の乗車人数</li> <li>駅への路線バスでのアクセス分担率</li> <li>バス停の乗降者数及びバス利用方面</li> <li>地域拠点</li> <li>鉄道駅利用者の出発地</li> <li>鉄道駅利用者の目的地 など</li> </ul>
③地域拠点バス停	<p>上記①、②分類に該当しない第2次熊本市都市マスタープランの地域拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域からのトリップ等の集積が多い箇所</li> <li>都市機能(公共、商業、医療、金融)が立地する箇所 など</li> </ul>
④乗換ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹公共交通軸と内環状線、外環状線とが交差する箇所</li> </ul>

#### 【基幹公共交通軸へのゾーンバスシステム導入に向けた課題】

- ①定時性と速達性の確保
- ②利用者への負担軽減策
- ③バス事業者・行政の課題

#### 課題解決と導入に向けて

- 今回、パーソントリップ調査結果などの新たな視点から、基幹交通軸上の乗換拠点候補地を検討し、整備すべき機能や整備優先度などの課題抽出を行っているところ。
- 来年度以降、基幹公共交通部会の中で、事務局で取りまとめたこれらのデータを基に、乗換拠点候補地を含めた基幹軸の整備の方向性について議論を深めるとともに、ゾーンバスシステムの導入と課題解決に向けて、バス事業者や周辺自治体と調整しながら検討を進める方針。